

令和5年度 敦賀高等学校定時制 学校関係者評価書

(問)

- ・学校評価書の成果と課題が適切かどうか。
- ・スクールポリシーを踏まえた評価となっているか
- ・成果と課題を踏まえた今後の改善策・向上策が適切か。

(意見を聞いた方)

福井県立敦賀高等学校 定時制 教育振興会 会長 橋本 敦夫 様

○教務 授業への積極的な取り組みの支援と基礎学力の向上

- ・学校で毎日開かれる「打ち合わせ会」では、教職員が生徒の出席や学習の進捗、クラスの状況などを共有し、生徒たちの小さな変化も見逃さないようにしています。生徒のアンケートによると、出席に関する満足度は79.1%から81.1%に上昇し、昨年よりも良くなっています。これからも、生徒一人ひとりに対する手厚い支援を継続してもらいたいと思います。
- ・授業の理解度に関しては、79.1%から86.5%に向上しました。来年度は、学び直しのためのAI学習アプリを導入するとお聞きしています。生徒が社会に出ても困らないように、基礎学力をしっかりと身につけることができる授業を継続してもらいたいと思います。

○生活支援 基本的な生活態度を育成し、規律ある集団生活の定着

- ・生徒の挨拶の励行に関する状況は、昨年の90.0%からわずかに減少して89.1%となりましたが、目標の90.0%にはほぼ達しています。挨拶は社会生活において重要なコミュニケーションの手段であるため、今後も挨拶を促進することが望めます。また、校則に従って頭髪を整えるなどの行動については、95.3%から100%へと改善し、目標を達成しています。これは教師の皆さんの地道な支援のおかげだと思えます。
- ・保護者の生活支援への満足度については、80.0%から90.9%へと大きく向上しました。これは保護者との協力のもと、学校での適切な支援が行われている結果だと思えます。今後も規律ある集団生活を維持し、さらなる改善を目指してもらいたいと思います。

○進路支援 進路目標の早期設定と望ましい職業観の育成

- ・具体的な進路目標を持つ生徒の割合が48.7%→40.5%へと減少しています。この傾向を改善するために、進路相談、情報提供、講演会や講座を通じて、キャリア教育の更なる充実を期待しております。
 - ・地元の職業人を招いたキャリア教育(60人60色)や、産業技術専門学院でのジョブトレーニングを強化し、生徒が社会的・職業的に自立するために必要な資質や能力の育成をお願いしたいと思います。
- これらの取り組みを通じて、生徒たちが自分の進路について早期に目標を設定し、実現可能な職業観を育てることができるよう、引き続き生徒支援をお願いいたします。

○保健指導 心身の健康に対する意識の向上と教育相談の充実

- ・本年度も、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの皆様のご支援に感謝しております。1・2年生の全員面談や「打ち合わせ会」への参加など、生徒たちの多様な悩みに耳を傾け、心の問題やいじめ、不登校の予防と早期発見に尽力して下さっています。この取り組みのおかげで、相談しやすさは65.2%から67.5%へと改善されました。今後も、生徒が積極的に相談できる環境を整え、教育相談体制をさらに強化し、心の問題や適応困難の早期発見・対応を進めていただきたいと思います。

○交通安全指導 交通安全についての意識の確立と規則遵守の徹底

- ・生徒の交通安全に関する指導は、引き続き重点を置いて取り組んでいただきたいと思います。生徒たちの交通規則遵守意識は93%から97.3%へと向上し、目標を達成しています。今後も、警察や自動車学校などの関係機関と連携を深め、定期的な交通安全講習や講演を通じて、生徒たちに交通安全の重要性を教え、命の大切さを伝える活動を継続していただきたいと思います。

(学校関係者評価を踏まえた今後について)

- ・学校にはさまざまな特性を持つ生徒が入学しており、それぞれの学習習熟度も異なります。学校が、個々の生徒に合わせた最適な学びと協力し合う学習環境を提供することで、生徒一人ひとりの能力を伸ばし、社会や職業で自立するために必要な資質や能力を育てていただきたいと思います。次年度に向けて、教育活動の課題を明確にし、改善策を講じながら、教職員全員で力を合わせて、生徒たちが自主性と自立心を育むための取り組みを引き続きお願いしたい。